

第3章

小学校入門期における 指導の接続

1 小学校入門期の各教科等における指導の接続

(1) 各教科等における指導の接続のポイント

子供の発達や学びの連続性を保障した教育活動を行っていくためには、就学前教育と小学校教育が円滑に接続し、体系的な教育が組織的に行われることが重要です。

本カリキュラムでは、子供に生きる力を育成するために、その基礎となる資質・能力を「確かな学力につながる〔学びの芽生え〕」「豊かな人間性につながる〔人とのかかわり〕」「健康・体力につながる〔生活習慣・運動〕」と捉えました。そして、この三つの資質・能力について、0歳児から5歳児、そして小学校の入門期にかけて、子供に確実に経験させたい内容を明らかにしました。

特に、小学校入門期には、生きる力の基礎となる三つの資質・能力を培うために、子供に確実に経験させたい内容の視点（思考、言葉、創造、協同、信頼、規範、基本的な生活習慣、運動）に基づいて、教師は次のことに留意して指導を行い、就学前教育と小学校教育との円滑な接続を図りながら、各教科等の目標の実現に努めていく必要があります。

- 就学前教育で子供が経験してきた内容のうち、小学校入門期における各教科等の学習において生かせることを明らかにして指導に当たる。
- 就学前教育で子供が経験してきた内容を踏まえて、小学校入門期における各教科等の目標や内容に基づいて子供に指導する事項を明らかにして指導に当たる。

次の頁の(2)では、就学前教育との接続を考慮した小学校入門期の各教科等の指導例を掲載しました。

<小学校入門期の各教科等の指導例>

算数科 単元名「10までの数」	
<p><小学校入門期における指導の在り方> 就学前に、児童は、ものを数えたり数字を読んだり、順番を意識することなどを、日常生活の中で経験してきた。 算数科の入門期の教材は、絵や写真を中心に構成されており、数についてのイメージを膨らませるようにしている。就学前教育での経験を基に、絵や写真とおはじきなどの具体物とを1対1に正しく対応させ、個数や順番を数えたり個数を比べたりして、数に対する概念を構築することをねらいとしている。 この学習では、具体物を用い、ものの個数を数えたり比べたりする活動を通して、数の意味について理解できるようにする。</p>	
<p>ねらい：絵とおはじきを1対1対応させ、ものの個数を比べる。</p>	
<p>児童の活動</p> <p>動物の数を比べよう。</p> <p>1 問題の場面を確認する。 ・学校に行くところだね。 ・たくさんの動物がいるよ。 ・種類もいっぱいだね。</p> <p>2 教科書の絵（いろいろな動物）を見て、気付いたことを発表する。 ・パンダやカバがいる。 ・一番多いのは、コアラかな。 ・イヌも多いよ。 ・どの動物が一番多いのかな。</p> <p>3 それぞれの動物の上におはじきを置き、個数を数える。 ・パンダ 3 ・カバ 4 ・コアラ 7 ・イヌ 5 ・サル 4 ・キツネ 3</p> <p>4 どの動物が多いか、おはじき同士を1対1対応させ、比べる。 ・パンダとカバを比べると、カバの方が1多い。 ・カバとサルは同じ数だね。 ・コアラが一番多かったよ。</p> <p>5 学習を振り返る。 ・おはじきを置くと、数えやすかったな。 ・もっと、たくさんの動物を調べてみたいな。</p>	<p>算数科の指導事項 <input type="checkbox"/> 就学前教育で経験してきたこと <input checked="" type="checkbox"/> 接続を考慮した指導のポイント</p> <p>○問題場を理解して見通しをもつ。 目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を生かすなど工夫して取り組む。(思考)</p> <p>問題場面の構成要素（何が、いくつ）を正しく理解できるようにする。 ・どのような場面か、何がいるか、いくつあるかなどと問いかけ、児童の発言を取り上げながら、学習への興味・関心や意欲を高めるようにする。</p> <p>○気付いたことを発表し、課題を確認する。 絵を見て見つけたことをみんなの前で話す。(言葉)</p> <p>安心して発表できるような雰囲気大切にしながら、徐々に動物の種類と数について着目させることで、課題を明らかにしていく。 ・きちんと手を挙げて、指名されてから発言する姿勢を称賞する。 ・同じ考えの児童がいるかを毎回確認し、認めていくようにする。 ・個の疑問を、全体の課題へと共有化していく。</p> <p>○動物の絵とおはじきを対応させ、数を数える。 ○おはじき同士を1対1対応させ、数を比べる。 数に興味をもち、必要感をもって使う。(思考)</p> <p>調べる活動を十分に確保し、数を比べるには、それぞれのおはじきを1対1対応すればよいことに気付くようにする。 ・席が近い友達に、調べ方や結果を紹介する。 ・机上の操作を黒板で再現し、どのように比べたのかを説明できるようにする。</p> <p>数に関心をもち、ゲームや遊びの中で数える。(思考)</p> <p>学習の中で、便利だった方法、これからも使える方法などに着目できるようにする。 ・児童の言葉で価値付けていく。 ・次時の学習への興味・関心をもてるようにする。</p>

小学校入門期の単元等を示しています。

就学前教育との接続を考慮した、小学校入門期における単元等の指導の在り方を示しています。

就学前教育で経験してきた内容のうち、小学校入門期における各教科等の学習において生かせることを明らかにしています。

就学前教育で子供が経験してきた内容を踏まえ、小学校入門期における各教科等の目標や内容に基づいて子供に指導する事項を明らかにしています。

就学前教育との接続を考慮した指導のポイントを示しています。